

◇ 宮 城 貢 議員

○ 7 番（宮城 貢） 質問をします。まず、ふるさと納税について。

委託契約で締結した事項（事業者名、日時、期間等）はどうなっていますか。

2 番目に、村内の事業者が提供している返礼品の個数と金額等はどうなっていますか。

3 番目に、企業版ふるさと納税について現在の進行状況はどうなっていますか。

村行政全般についてお伺いします。

1 番目に、広報 2 月号 4 ページの令和 3 年度会計年度任用職員募集について、現在の申込み状況はいかがですか。

2 番目に大宜味村観光協会の設立以来、取組に対する評価はいかがですか。今年度以降、補助金の推移はどうなりますか。

以上、お伺いします。

○ 村長（宮城功光） お答えいたします。1 の①については、ふるさと納税の事務委託として、株式会社ラクセスイノベーションと本村のふるさと納税の返礼品に関する当初のシステム開発から、毎年度ごとに契約締結を行い、業務を遂行しております。

②につきましては、29 の事業者で、現在サイト上で掲載している返礼品で140品目ほどとなっております。金額につきましては、寄附金額として1万円から84万円まで設定されております。ぜひとも村ホームページのふるさと納税特設サイトを御参照いただきたいと思います。

③につきましては、企業版ふるさと納税の制度では、総合戦略に位置づけられた事業で、国へ申請し認定を受けた事業が適用されるものとなっております。現在、総合戦略の策定業務も進行しており、その内容において企業版ふるさと納税に対応するための考え方も示させてもらっております。

2の①につきましては、地方公務員法等の一部改正により、これまで臨時、そして非常勤職員を令和2年度から会計年度任用職員制度に移行し運用しております。令和3年度の募集については31の職種から23名の募集を行っておりますが、3月11日時点で8名の申込みがございます。

②につきましては、観光協会が設立され間もなく、コロナウイルスにより取り組みに厳しさがあつたように伺っていますが、ター滝駐車場の指定管理業務やコロナ感染防止対応など、また村と連携したOMTクーポン事業など誠意取り組んでもらいました。当初の活動目的への実績は、いまだ、まだまだと感じられますが、世界自然遺産登録への取り組みなど、これか

らも連携して頑張ってもらいたいと思います。なお、補助金につきましては、次年度も今年度同様継続いたします。

○ 7番（宮城 貢） ふるさと納税の①についてですが、ふるさと納税が始まった年度から、このラクセスイノベーションの会社のほうとの契約でよろしいでしょうか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。
当初システム開発から一緒になって進めております。

○ 7番（宮城 貢） 契約のほうは、1年契約でよろしいでしょうか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。
単年度契約で毎年契約を行っております。

○ 7番（宮城 貢） ふるさと納税についての制度で、包括的請負型自治体より請負業者への丸投げから、あと地元誘導型行政商工会会員、請負業者が一体となって取り組むという形があるのは御存じでしょうか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

様々な方法が制度的にもあるというのを知ってはおります。ただし、その運用方法については、かなり、個人情報も含めて取り扱いのものとか、かなりしっかりとした体制でやらないといけないということもありますし、運用方法、委託の方法とか、いい条件でやっていかないとけないと

いうところがありますので、今、やっているところです。

○ 7番（宮城 貢） お伺いします。

私のほうで聞いていたことで、まず10あったら、5のほうは村の行政の事業で、あと3のほうは地元産品のほうの品物として、あと20%、2のほうは委託業者のほうの経費、それプラス輸送だと聞いているんだが、それでよろしいでしょうか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

細かくは若干違いますけれども、基本的にふるさと納税制度の寄附金額に対して約50%が事務委託に係るもの。事務委託だけではなくて、返礼品とかそういったものに係るもの。残りが寄附金として村の収入に入るものというイメージで考えてもらいたいと思います。また、事業者へ行く委託料は率が違います。幾らの金額に対しては幾らの率というものが契約の中で決められておりますが、こちらについては公表は控えさせていただきたいと思います。

○ 7番（宮城 貢） これは、2番目のほうになりますけれども、返礼品等の個数と金額、カタログじゃなくて実数なんです。つまり年度年度で、特に今年のアレでしますと、12月末でたしか2億4,000万円に来ています。だからそうしますと、その割合のほうで、私のほうで5割のほうの行

政の自主財源というのもすごく魅力あるんですが、3割のほうで、地元の産品関係、これを贈り物としてされるということでやれば、ずっとこのことについて前回、課長のほうでその3割は大きな地域への経済効果だと思っているということで返答をいただいているんだが、その実数が見えてこないし、そういう話が聞こえてこないものですから。ちなみにこのほうでやっているラクセスイノベーションからは、そういうリストは来ないんですか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） 答え方はちょっと難しいんですが、リストはホームページに載っているということで理解してもらいたいと思います。ホームページにふるさと納税の特設サイトがありまして、ラクセスイノベーションがそのシステムを開発して、提携して載せていますので、金額、事業者名、全て載っていますので、そちらを御参照いただきたいと思います。

○ 7番（宮城 貢） カタログじゃなくて、その実数がありますか。ずっと前から聞いているのは、カタログというか、見せるものだけであって、実数的に幾らのほう、どの事業者、やんばる酒造とかいろんところが、あとマンゴー関係、それは実際にどのような形になっているのか。それをお聞きしたいと思います。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

ちょっと質問の趣旨が理解できなくて申し訳なく思っています。

この返礼品については、システムで寄附金に対してどういう返礼品を寄附者が求めるかということで、全てこのシステム上で分かることになっているので、ぜひ企画観光課の担当のところにお越しただいて、そのシステムのデータを確認していただければと思います。そうすると分かるようになりますので、よろしくをお願いします。

○ 7番（宮城 貢） 村長にお伺いしたいんですが、今回、第6次大宜味村行政改革大綱及び実施計画の策定の中の基本の3で、自主財源の確保というのがございます。実は先ほど、包括的請負型と地元主導型、実は地元主導型のほうでやられている市町村がかなり出てきているし、また包括型から地元主導型に移そうという話が進んでいる自治体も周りがございます。大宜味村は人材をもって資源となすのであれば、この本事業が終わったら包括請負型は苦労、企画、工夫、広報をしない、本事業が終わったら、企業が抜けたら何も残らない。ただ、地元主導型ですと苦労はするんです。かなり汗かきます。あと本事業が終わっても人材、ノウハウが残るということで、そういうことでこの事業の見直しとか近隣の市はあれですけども、近隣でそういうことがあるということは私は聞いていますが、

できれば、今帰仁村あたりでの実績としては2人雇用、あと公用車、あと修理費の積立金に幾らか、900万円単位とか回しているというのも聞いております。この点、すみません、できましたら村長のリーダーシップというか、村長の考えだと思えます。お答えのほうをお願いいたします。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） 御質問にお答えいたします。

これまでも開発当初から地元の企業でできるようにならないかということは、検討はしておりました。しかし、村の事業者といたしましてもシステム、特にシステムの使い方が大変重要になってきます。そのシステムについてはネット社会ですので、個人情報の扱いというのも丁寧にしていかないといけないというところで、それができる事業者が今のところ村内には相談もしておりますが、ないと、またできないということも話になっていきます。なので、ぜひそういった事業者が、我々も人材をもって資源となすということで育成していくということも必要かもしれませんが、しかし、今構築できているこのシステムを止めてまでやるということは想定はしていないので、今後も、やはり村民の、村の事業者ということで、これをやっていきたいという事業者がやはり出てきたら、そういったところはしっかり考えていきたい。今の事業者ともそういう話は進めていますので、

そういうところで御理解いただきたいと思います。

○ 7番（宮城 貢） すみません、事業者というか、民間の事業者じゃなくて、商工会、あとで出そうと思ったんですが、観光協会あたりがそれに関してせっかくビジターセンターとか、ああいうところもつくってありますし、あと隣で指定管理者の会社の方も全国的にそういう関係のこともやっている人だと思うし、そのノウハウも十分にあります。ここの点についての検討をお願いします。

続けて、議長。広報2号の4ページの令和3年度会計年度任用職員募集について、村長のほうでお答えの中で、21人の定員に対して8名だということ聞いたんですが、それでよろしいでしょうか。

○ 総務課長（知念和史） 23名の募集のうち、答弁書作成時のときには8人となっておりますが、こちらに来るときに確認したら今現在で12人ということになっておりまして、日々辞退者も出たり、申込者もいたり動いてはきておりますが、募集定員に届いていないのが実情でございます。

○ 7番（宮城 貢） 次の観光協会関係に対するものもありますので、集落支援員、エコツアー関係、観光関係、定数は何名で現在申込みは何名ですか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） 集落支援員につ

きましては、我々企画観光課のほうの事業で募集をかけております。観光関係、エコツーリズムの関係で4名、定住関係1人と商工の関係で1人ということで、計6名の募集をかけているところですが、定員6名に対して、今4名の応募が来ているというところです。

○ 7番(宮城 貢) すみません、観光協会関係では4名の定員ですが、申込みは何名になりますか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長(福地 亮) 答えします。

観光協会関係というものは、観光とエコツーリズム集落支援員ということでよろしいかと思しますので、今4名に対して2人です。

○ 7番(宮城 貢) 今日、午前中の質問の中にも出てきております。先ほど村長のほうから、大宜味村の観光協会の取組についての評価ということにはありましたけれども、私のほうでも新聞記事等で把握した件があります。2022年度前期、NHK連続テレビ小説は沖縄やんばるとしたドラマ「ちむどんどん」と決まっております。3月4日の琉球新報には国頭村の知花村長は、舞台としてやんばるを取り上げることは歓迎する。村民から問合せもあるが、具体的なことは分からないので、情報を収集したいと述べ、金城 茂観光協会会長は、撮影場所を国頭にしていただけたらPRになる。放送後はやんばるに行ってみたいという観光客も多くなるはず

だと話しております。また、NHKの関係者は大宜味村観光協会の職員の案内で数回、大宜味村内喜如嘉区、笑味の店、豆腐屋など取材に来ております。先ほど村長もこのことは御存じだということで、観光の定員ですね、これは今年度というか、募集は満たすことはできそうですか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

観光協会の事務局の話ではない、集落支援員ということで理解をしたいと思いますんですが、集落支援員についても、先ほど総務課長からもありましたように、今定員は来ていない状況ですので、それを満たすようには努力していきたいと思っていますところです。

○ 7番（宮城 貢） 先ほどのふるさと納税の件にもつながります。今回の大宜味村第2次観光振興基本計画の7ページ、このほうは、課長のほう、大宜味村担当課の評価と策定委員の評価ということでありますけれども、これは課長のところでよろしいでしょうか。担当課の評価という。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） はい、企画観光課でございます。

○ 7番（宮城 貢） この中にもふるさと納税についてと一番差が、担当課の評価と策定委員会の評価が丸っきり、100とゼロ%になっているのが、観光受入体制コーディネーターの育成は、担当課の評価としては100、

でも策定委員はゼロ%というか、つまり人材だと思うんです。ちょっとお願いしたいのは、やっぱり今回の集落支援員とかをやる中で単年度の契約で、単年度単年度なんですか。そうしたら同じように分かると思いますけれども、やっぱり大宜味村ですっと生活、仕事とかというか、いろんな面でやるにも。あとこの事業に関しては来年度で終わるというのも聞いたんですが、それでよろしいでしょうか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。集落支援員制度という総務省の過疎対策の事業になっていまして、それを活用して特別交付税の算定されてきます。それでそういうものを活用しながら、今までは賃金職員ということでの対応のものであったんですが、それを今の制度で、会計年度任用職員ということになっていますので、会計年度任用職員としては、毎年度契約というか、雇用の契約になっています。その毎年度やりながら、更新は本人の意思に基づいて、または我々が継続していくかどうかと判断しながらやっていくものですので、基本的には単年度ということになっております。

○ 7番（宮城 貢） すみません、聞き漏らしたのが、観光協会の評価、取組については伺ったんですが、今年度以降の補助金の推移については答えられていますか。人件費のほうとか、あと事業費のほうとか、そういう

関係があると思いますが、それは5年、10年とどのように変わってくるのか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

先ほど村長からも答弁はありましたけれども、次年度は継続はすることになっています。ただし、今、収益事業とか観光協会のできる分はぜひ自主運営ということを目指して頑張ってもらいたいということを行っていますので、その見通しがどのくらいのものというのはまだこちらも持っていませんが、5年、10年、早いうちに自主運営ができるような取組を頑張ってもらいたいということで位置づけて、予算もやっております。

○ 7番（宮城 貢） 最後になります。今回の観光振興基本計画の65ページのほうに、ちょうど長寿の里、茶寿の里ということで、ちょうどいい形の、今回NHKのドラマの中で長寿とかアツタイグワとか大宜味でよく使われている用語がもし出てきた場合のあれで、本当に長寿の里を再復活じゃないんですけれども、そういうことで、実は外国人が見つけた長寿幸せの生きがいという本があります。この中に大宜味村のお年寄りを、外国のスペインの方かな、取材に来たときのものを書かれていますけれども、ぜひとも長寿の里のほうの取組に関して、4つのキーワードの中の一つであります。これを全面的にまたPRしてもらって、観光関係とか大宜味村

の村づくりのほうに貢献できるような形でお願いしたいと思います。以上
になります。